

二泊三日の日程で、北陸方面への修学旅行を実施しました。天候は雨天続きでしたが、和歌山とは異なる北陸地方の文化・自然に触れることができました。二学年一七二名の生徒たちは、一日目にゆのくにの森で伝統工芸の体験、二日目に白川郷と金沢市街地の散策、三日目には東尋坊、ラ・コリーナの観光をしました。生徒たちにとっては、普段できない貴重な体験をすることができ、思い出に残る修学旅行になったことと思います。

修学旅行実行委員が感想を書いてくれましたので、抜粋し紹介したいと思います。

(二学年団・岸田)

令和四年度  
耐久高校二年生  
修学旅行 北陸方面

修学旅行は初め沖繩で楽しみにしていたため、石川に変更になったことは残念に思っていました。そんなことを考えさせないくらい楽しかったです。私は旅館が一番でした。貸し切りでみんなと過ごせて本当に楽しかったです。



旅館でみんなと騒いことが一番思い出に残っています。温泉は久しぶりだったので、とてもテンションが上がりました。旅館のご飯は量が多かったけど、すごく美味しかったです。



朝、各地域のバスの集まり場所で集まった時そこで修学旅行に行けるのだなど実感しました。旅館では美味しい料理を食べて部屋のみならず騒ぎました。部屋が想像していたよりもすごく広くて驚きました。白川郷へ行く途中から雪が降っていてテンションが上がりました。私の今年の初雪は白川郷でした。

体験でガラス工芸をしました。自分が作った模様は簡単なものだったので難しくはなかったけど、プロはもっと細かく難しいものを作っているのです。すごいと思います。コップが白くなるのは光の反射でなっていることを教えてもらい、いい体験ができ良かったです。



ゆのくにの森では「輪島塗」を選びました。お箸に好きな模様をつける体験は難しかったけど、やりがいのある体験でした。白川郷は寒いと思っていました。風がなく不思議と寒くなかったです。町のあちこちに放水銃があり、もし火災になったとしてもすぐ消せるようになっていました。知りませんでした。

北陸は和歌山と違い日本海側なのでとても寒かったです。和歌山では雪が積もった真っ白な光景を見ることが出来ないので、とても綺麗で嬉しかったです。雪が沢山降る地域では雪が積もらないように屋根がすごく斜めになっていました。



修学旅行で一番印象に残っているのは白川郷です。家の形が普通の家の造りとは違い良いものが見られたと思いました。一般の人が住んでいるのにも驚きました。家から出たら知らない人たちが歩いていると思うと、ちょっと面白くて笑っています。



特に白川郷が印象に残っています。雪のかぶった合掌造りが見られて良かったです。自分が想像していた以上に楽しく充実した三日間になりました。

散策は班別自由行動だったので、私は仲のいい友達と三人で兼六園、二十一世紀美術館、商店街の香林坊など風情のある街並みや和菓子、特産物などの食を楽しみました。



二十一世紀美術館、ひがし茶屋街、兼六園など様々な所に行きました。限られた時間の中で行動するのはとても難しかったです。正直、修学旅行に行けるのかすごく不安でしたが、実際こうして行くことができ感謝の気持ちでいっぱいです。

金沢駅周辺の散策で一番印象が強かったのは金箔です。友だちによると無味らしいです。東尋坊では波が強くてびっくりしました。

ゆのくにの森では少し雪が降っていて寒かったけど、伝統を感じられる所で素敵でした。東尋坊では天気あまり良なくて波が凄かったです。とても迫力がありました。



修学旅行実行委員

- 一組 竹中 柚暉
- 二組 柳原 葉月
- 三組 竹中 万智
- 三組 三枝 悠斗
- 三組 矢田 美月
- 四組 山田 倅史
- 四組 桑原 加奈
- 五組 最明 希香
- 五組 鳥居 紀杏
- 六組 平西 倫太郎
- 六組 田中 みづほ